

# KiKiの広場

2013年 12月 1日

cafe NO.38  
KiKi



11月の中旬から一気に冬バージョンとなってしまった今年の冬。竜巻警報なるものも度々出たりと、本当に荒れたお天気が続きました。そんな中、ひだまりを見つけるとホッとします。押し迫る年の瀬は、せめて穏やかに過ごせるといいですね。

みなさま、今年も大変お世話になりました。10月からの価格改定につきましても、ご理解をいただき、スタッフ一同心より感謝しております。来年も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

新しい年がみなさまにとって、笑いのいっぱいある素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

12月の予定	
10日(火)	休館日
29日(日) ~6日(月)	年末年始休み



## 「今月のケーキ」・・・「ガトーショコラ」350円

シンプルな中にも深い味わいがある定番の人気者です。ベルギー産のチョコレートを使用し、甘味を抑えた濃厚な口当たりで手作り感あふれる逸品です。温かいケーキとしてもお召し上がりいただけます。



今月のお気に入り&本欄・・・「♡12月と言えばやっぱりクリスマス!♡」

～「魔法の夜」「ぞりぬすみ大さくせん」「とってもふしぎなクリスマス」「もみのきそのみをかざいなさい」などなど～



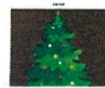
クリスマスという言葉の響きそして12月の街の雰囲気は、どんなに年を重ねてもワクワクしてしまいます。今回はクリスマス特集です。この季節には、本当に奇跡がおこるような気がします。

フランスの歌手ドミニク・マルシャンが20歳の時に歌物語として発表した「魔法の夜」は、クリスマスの夜に住む家もない貧しい老人と、実は魔法使いだった小さな白い犬が出会い、老人に親切にされた魔法使いがお礼に願いをかなえてくれるというお話です。老人が願ったこと、そして魔法使いがとった行動とは？本当の幸せってこういうことなのかなと、読んでいて胸が熱くなりました。人々の心をとらえたこの歌物語は、マルシャンが37歳という若さで亡くなった後、絵本としてよみがえったそうです。色鉛筆で描かれた優しい絵が、心を温かくしてくれます。マルシャンがどんなふうにかいていたのか、ぜひ聴いてみたいと思いました。



「ほしめざめなさい」で始まる「もみのきそのみをかざいなさい」は、「？」いっぱいの五味さんの作品です。

きれいで落ち着いた絵と、意味があるようなないような、でも心地いい言葉の余韻にひたりながら、一生懸命何かを感じようとしている自分がいます。大人向けのクリスマス絵本なのかな、と思います。最後の言葉が、世界中の全ての子どもたちへ届くといいなあと思わずにはられません。



## ほっとフレイク

ヒストリアでは、毎週土曜日に「子ども将棋教室」が開催されています。そこに指導者として来られているみなさんが、終わった後必ずKiKiに寄ってくださいます。日本将棋連盟宇部支部の支部長さんと他に若い方が3人。



実はこの方たち将棋の大会ではいつも優勝したり上位に残る方たちで、今月県の名人位決定戦があるそうですが、なんと現県アマ名人位と挑戦者決定戦で優勝した挑戦者が、この中のお2人という、なんてハイレベルな仲間うちなのでしょう。子どもたちの中にも、ほんの数年でどんどん腕を上げ、いまではあちらこちらの大会で優勝している強者もいます。ほんとにすごいです。

みなさんいつも将棋の話で盛り上がっていて、特に若い3人の方は将棋を指しながら3時間も4時間もお話されることもあります。いつもどんだけ将棋が好きなんだろうと感心しつつ、こんなに夢中になれるものがあるって、熱く語れる仲間がいるって、素敵だなと思います。

決定戦では名勝負になることを祈っています。どちらの方もファイト!です♡

